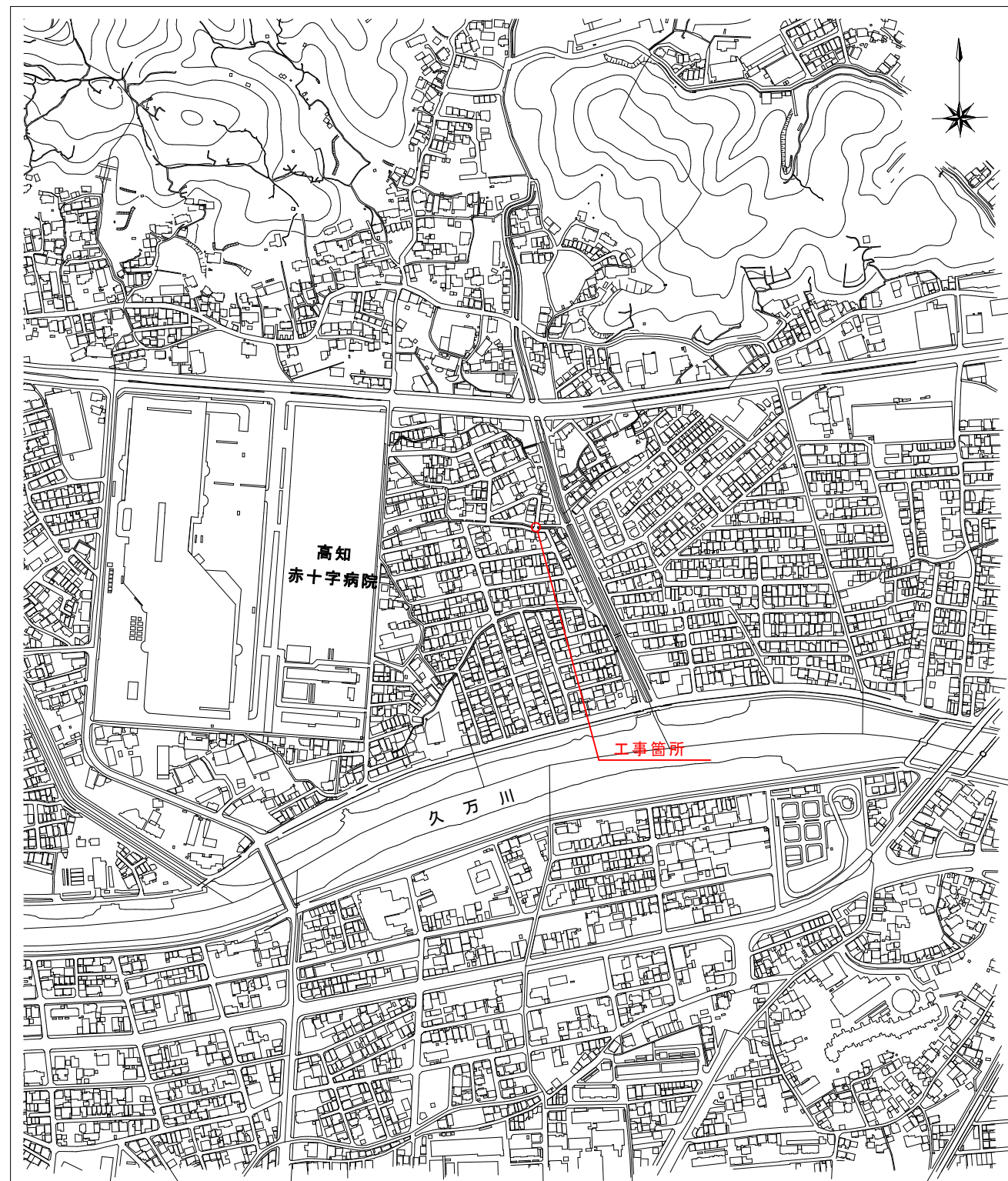
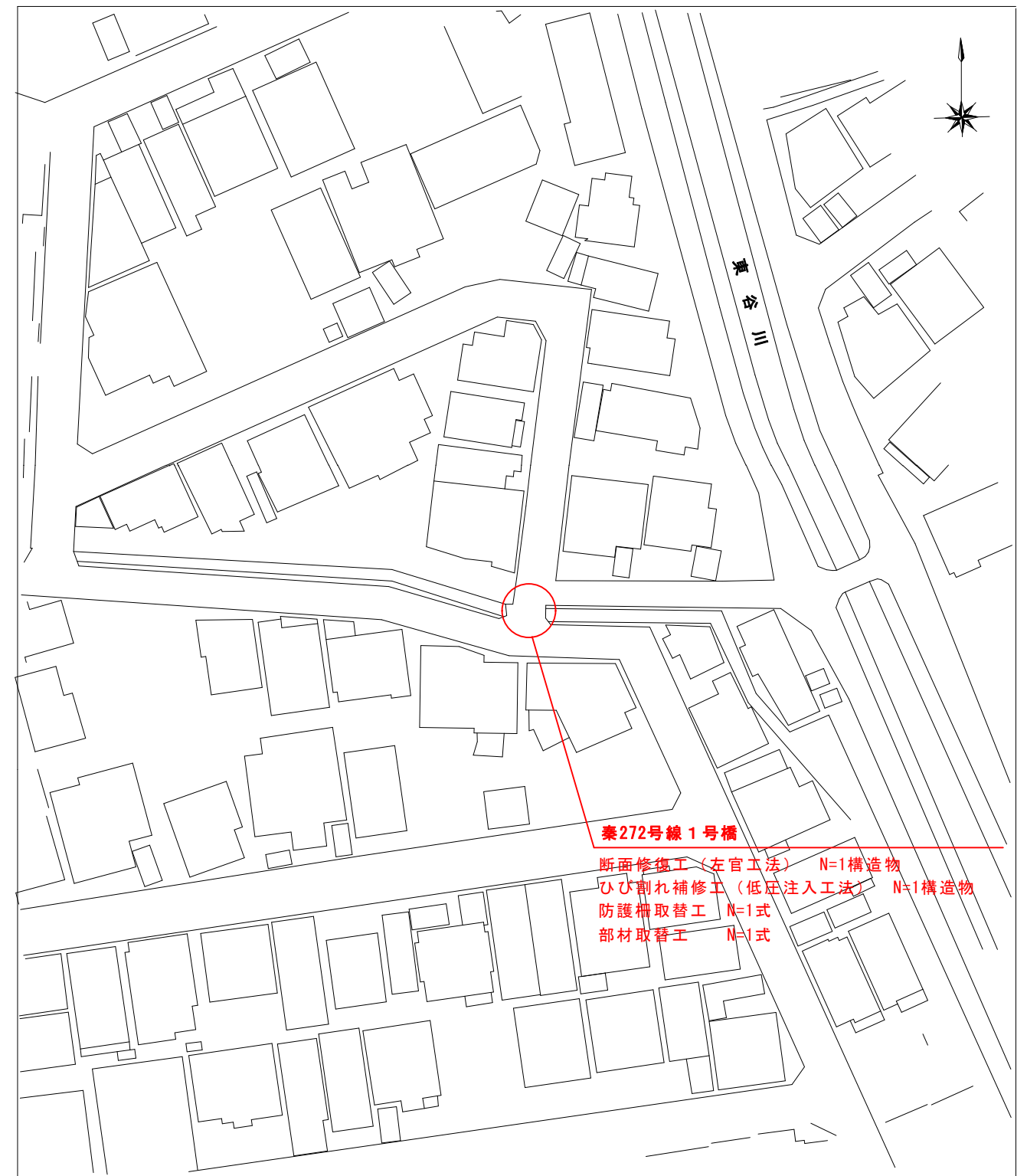


位置図 S=1:5000



平面図 S=1:500

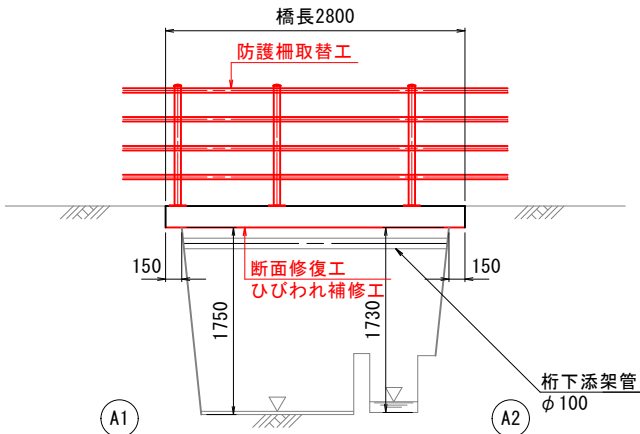


秦272号線 1号橋
断面修復工（左官工法） N=1構造物
ひび割れ補修工（低圧注入工法） N=1構造物
防護柵取替工 N=1式
部材取替工 N=1式

工 事 名	秦272号線 1号橋補修工事				
種 別	位置図・平面図				1 / 12
事 業 名	道路事業	課 長	課長補佐	係 長	設 計
令和 8 年度					
高知市都市建設部道路整備課					

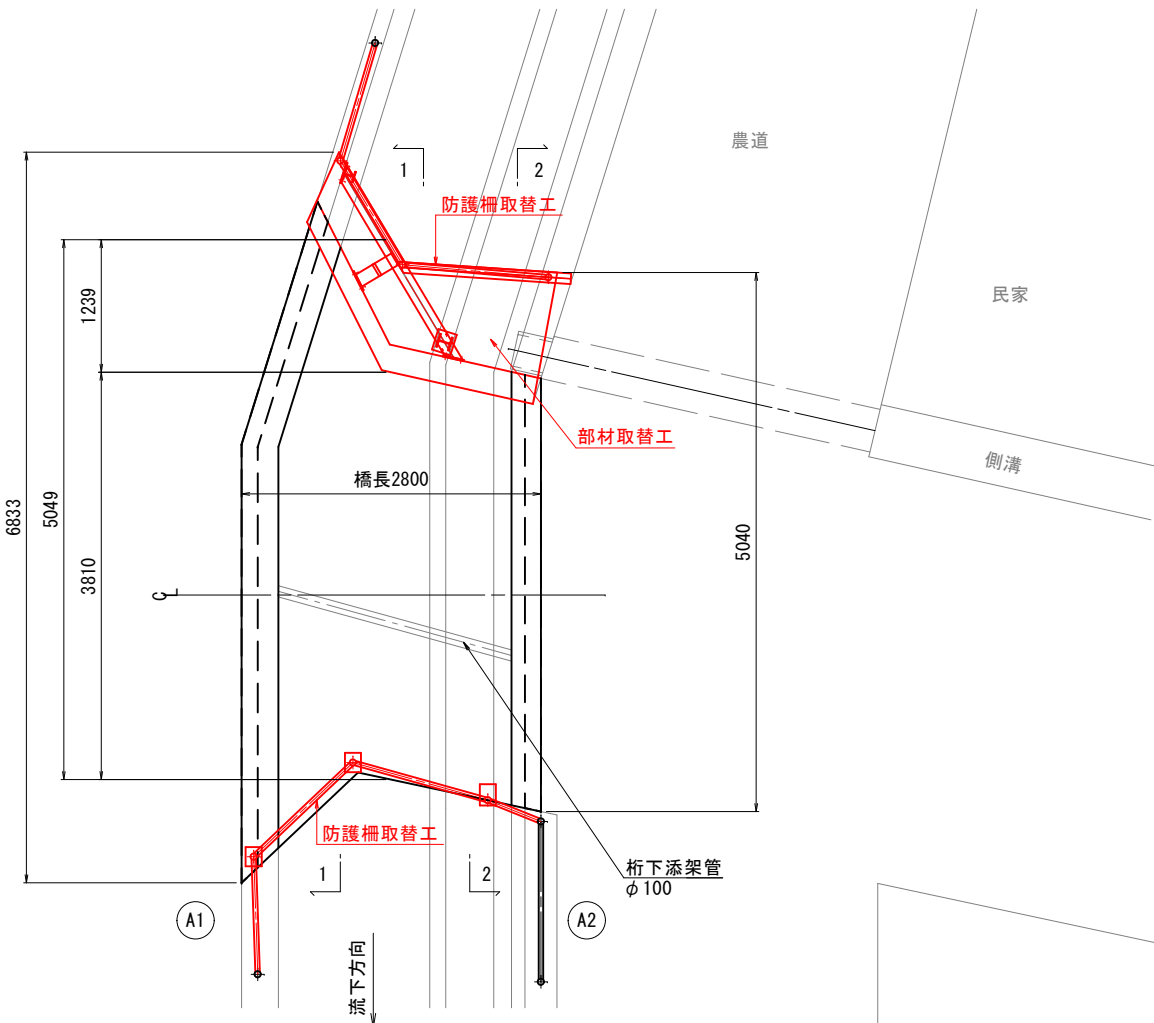
補修一般図

側面図 S=1:50

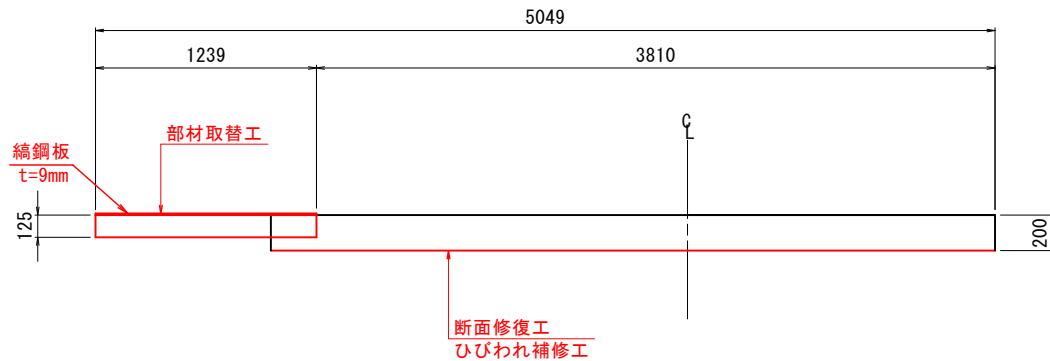


橋梁諸元	
橋 種	単純RC中実床版橋
適用示方書	不明
規格・設計荷重	不明
橋 長	2.800m
有効幅員	6.833～5.040m
下部工及び基礎工形式	橋 台：重力式橋台 基礎形式：不明
竣工年月	不明

平面图 S=1:50

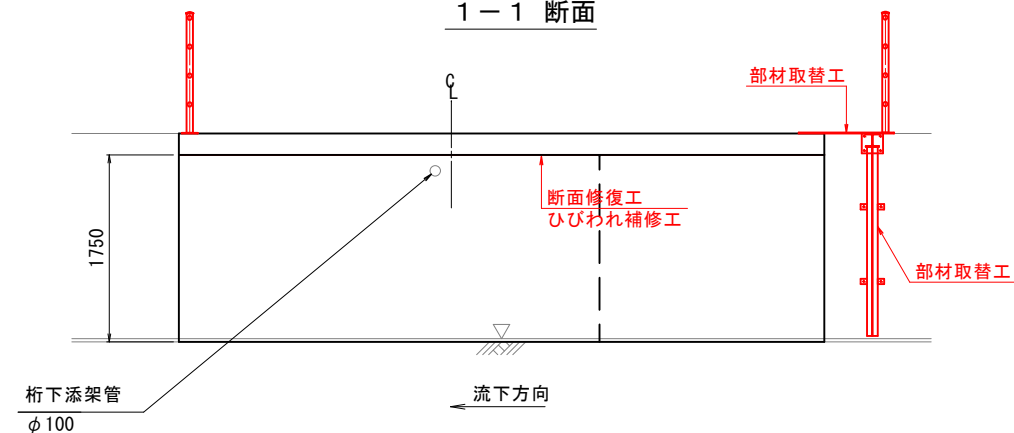


上部工断面図 S=1:30

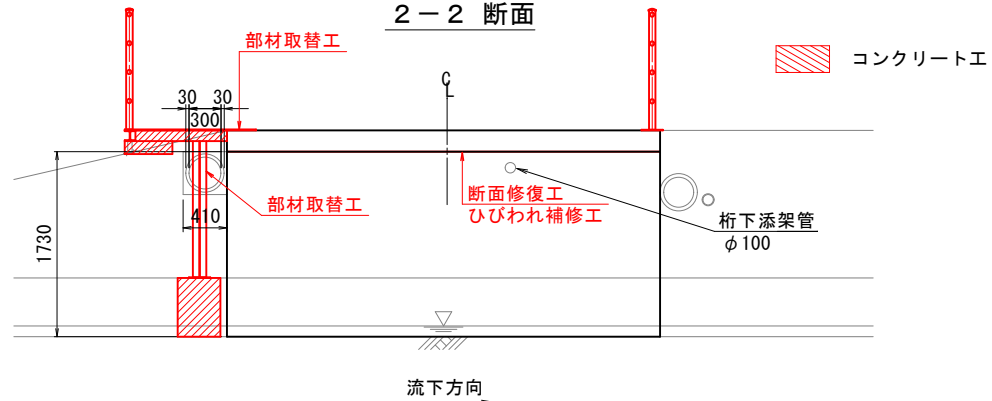


下部工正面図 S=1:50

1-1 断面



2-2 断面



注記

1 本図面は、現地簡易計測による寸法を記載したものであり、施工に際しては再度計測の上図面との整合を図ること。

補修箇所一覽表

対象部位		損傷内容	補修項目
上部工	主桁	うき、ひびわれ、豆板	断面修復工、ひびわれ補修工
	主桁(拡幅部)	腐食、防食機能の劣化	部材取替工
橋面	路面(拡幅部)	腐食、防食機能の劣化	部材取替工
	転落防止柵	腐食、防食機能の劣化	防護柵取替工

工 事 名	秦272号線 1号橋補修工事				
種 別	補修一般図				2 / 12
事 業 名	道路事業	課 長	課長 補佐	係 長	設 計
令和 8 年 度					
高知市都市建設部道路整備課					

上部工(主版) ひびわれ補修工・断面修復工

平面図 S=1:30

断面修復工 詳細図 S=1:Free

上部工(断面修復工)

番号	損傷の種類	損傷範囲 縦(mm) x横(mm) x深さ(mm)	箇所	数 量		備考
				面積(m2)	体積(m3)	
1	うき	1500x350x60	1	0.525	0.0315	鉄筋のケレン・防せい処理を含む
2	うき	400x700x60	1	0.280	0.0168	鉄筋のケレン・防せい処理を含む
3	うき	1100x300x60	1	0.330	0.0198	鉄筋のケレン・防せい処理を含む
4	うき	300x500x60	1	0.150	0.0090	鉄筋のケレン・防せい処理を含む
5	うき	300x200x60	1	0.060	0.0036	鉄筋のケレン・防せい処理を含む
6	うき	200x250x60	1	0.050	0.0030	鉄筋のケレン・防せい処理を含む
7	うき	300x350x60	1	0.105	0.0063	鉄筋のケレン・防せい処理を含む
8	剥離・鉄筋露出・豆板	400x650x60	1	0.260	0.0156	鉄筋のケレン・防せい処理を含む
9	うき	150x150x60	1	0.023	0.0014	鉄筋のケレン・防せい処理を含む
10	うき	400x400x60	1	0.160	0.0096	鉄筋のケレン・防せい処理を含む
合計				1.943	0.1166	

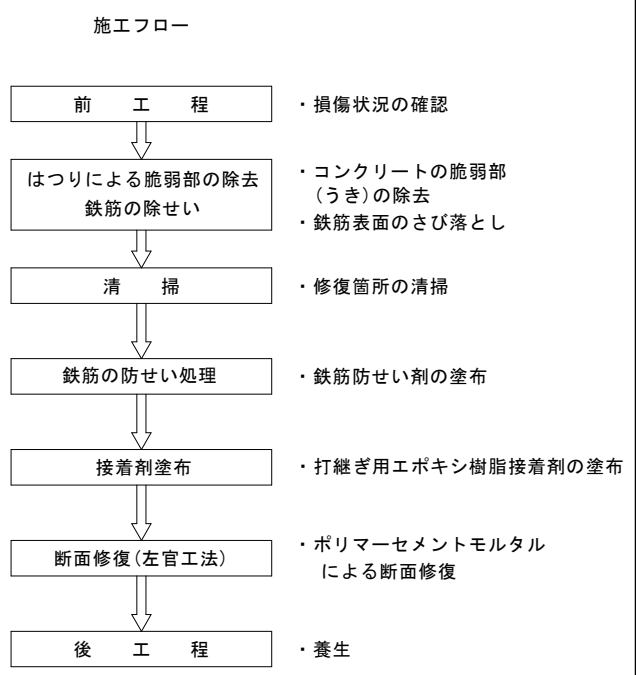
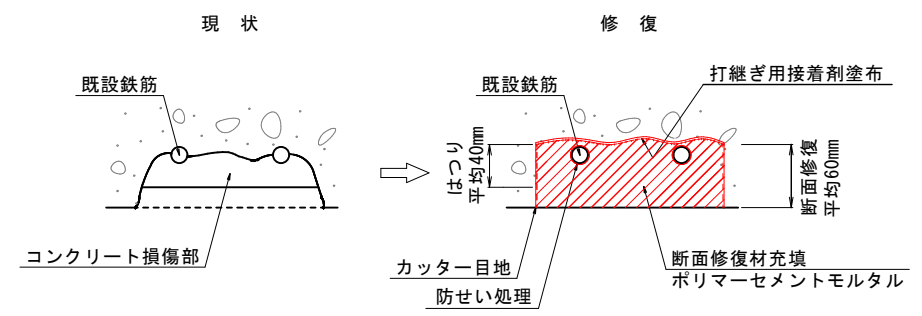
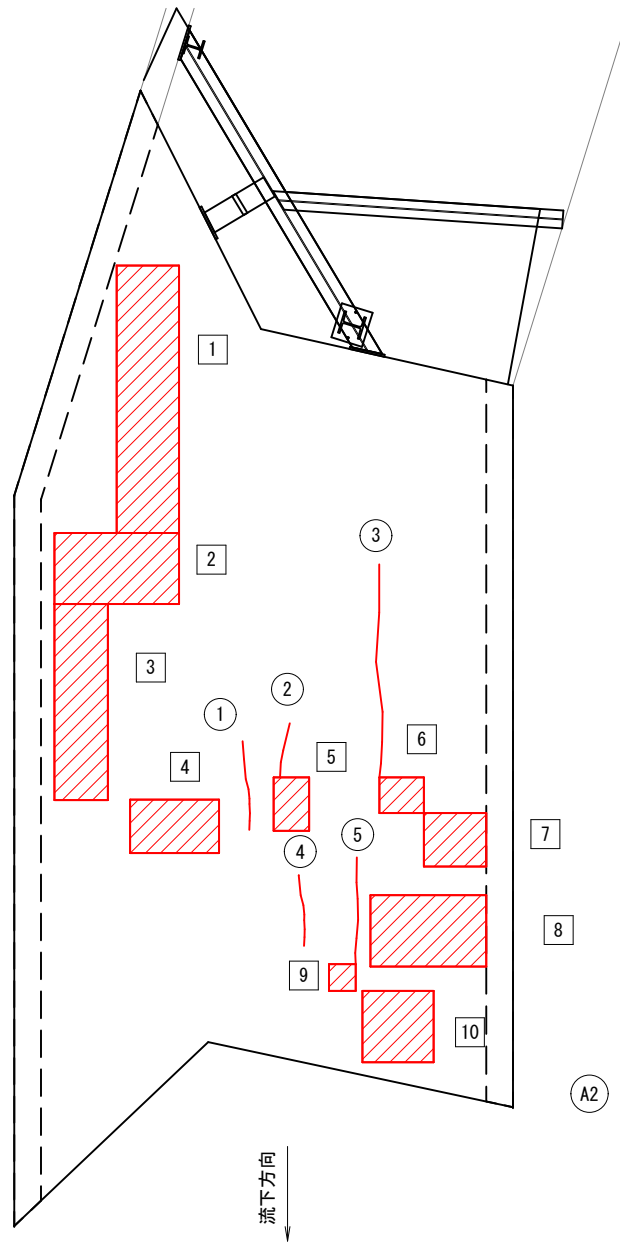
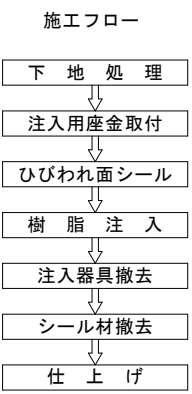
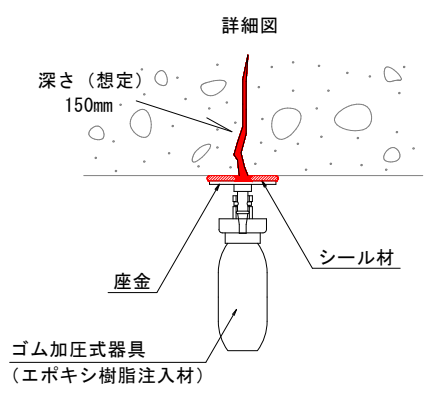
上部工(ひびわれ注入工)

番号	低圧注入工法	
	幅(mm)	延長(mm)
①	0.20	500
②	0.20	350
③	0.30	1200
④	0.20	400
⑤	0.25	600
合計	-	3050

補修工法 凡例

工 種	表 示
断面修復工	n
ひび割れ補修工（低圧注入工法）	n

ひびわれ注入工 詳細図 S=1:Free



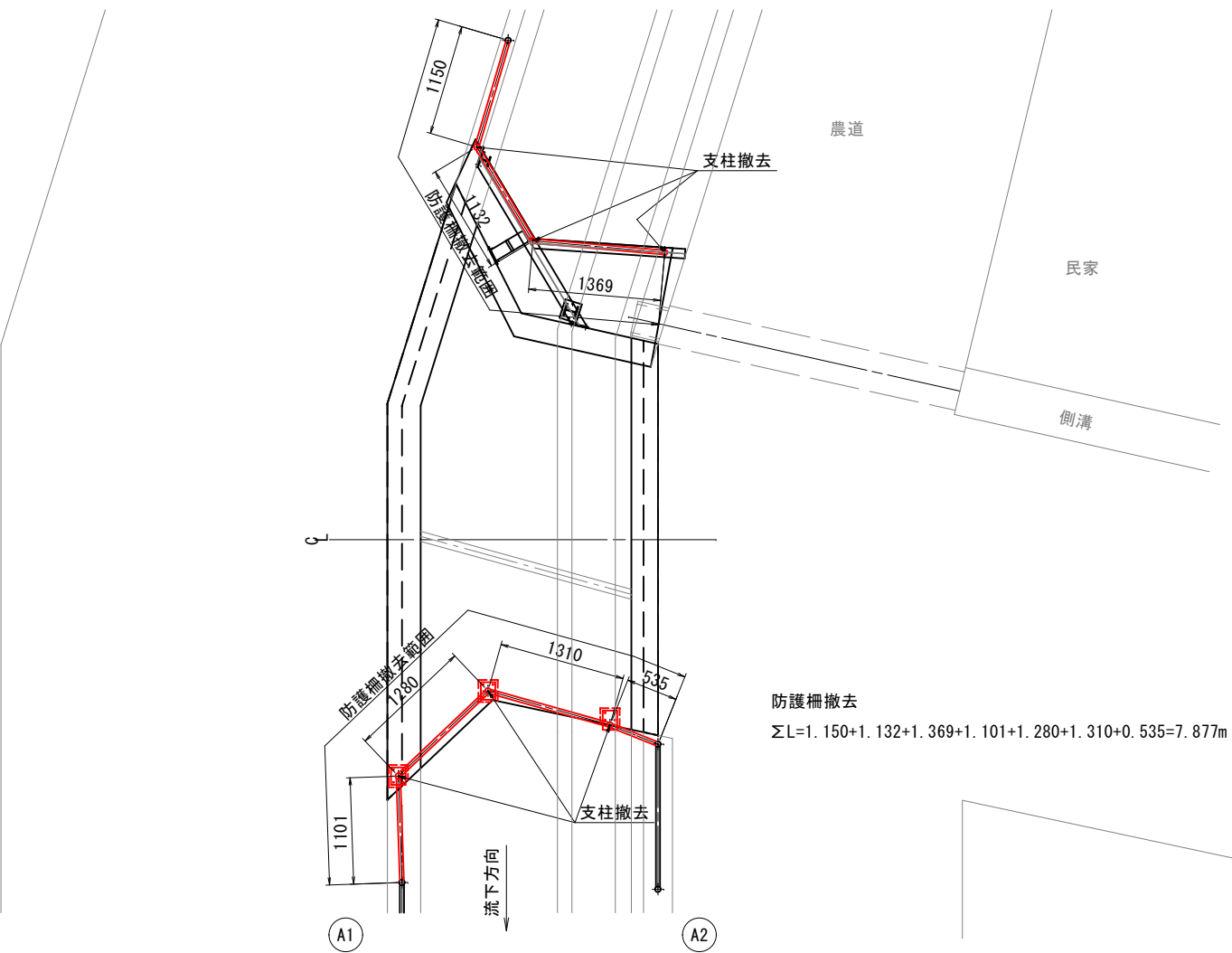
※はつり深さ：損傷箇所毎に異なるため、当初設計では補修深さの2/3
※補修深さ： かぶり(30mm)+鉄筋(13mm)+余裕(10mm)=53mm≒60mm(想定)

- (注意事項)
- 記載の損傷箇所は、調査時におけるものであり、補修工事に当たって新規の剥離、うきを発見した場合には、監督職員と協議の上で補修を実施すること。
 - 必要に応じて鉄筋の裏側まで、はつりケレンをする。ただし、コンクリートが正常に付着した鉄筋の裏側まで、はつりケレンを行う必要はない。
 - 上向き施工時に深さが20～25mmを超える場合は、積層塗り等により既設コンクリートとの一体化に留意すること。

工 事 名	秦272号線 1号橋補修工事			
種 別	上部工(主版) ひびわれ補修工 ・断面修復工	3 / 12		
事 業 名	道路事業	課 長	課長補佐	係 長 設 計
令 和 8 年 度				
高知市都市建設部道路整備課				

防護柵取替工(その1)

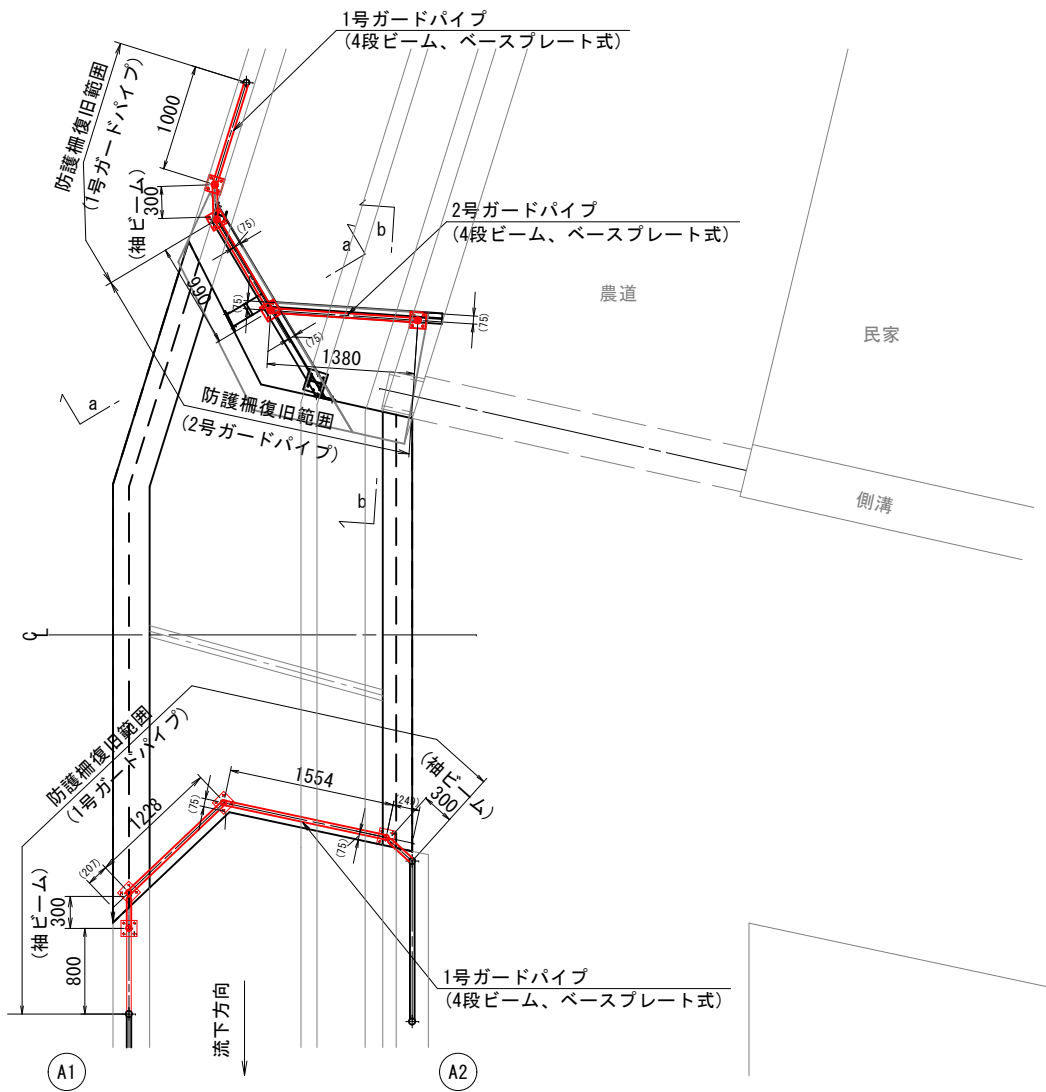
平面図
(撤去前) S=1:50



防護柵撤去
 $\Sigma L=1.150+1.132+1.369+1.101+1.280+1.310+0.535=7.877\text{m}$

※破線(赤)は、コンクリートはつり込み範囲を示す。

平面図
(復旧後) S=1:50

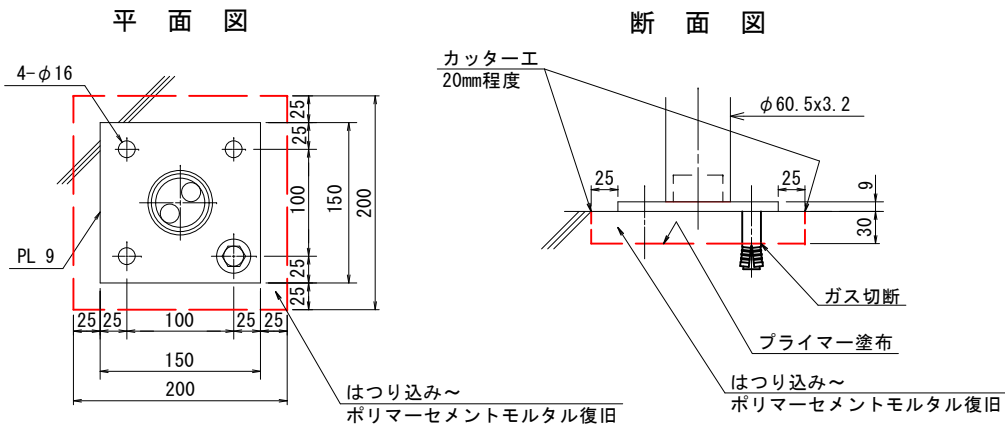


※()内の数値は、縁端距離を表示

防護柵設置(1号ガードパイプ)
 $\Sigma L=1.000+0.300+0.800+0.300+1.228+1.554+0.300+=5.482\text{m}$

防護柵設置(2号ガードパイプ)
 $\Sigma L=0.990+1.380=2.370\text{m}$

アンカーボルト撤去詳細図 S=1:5



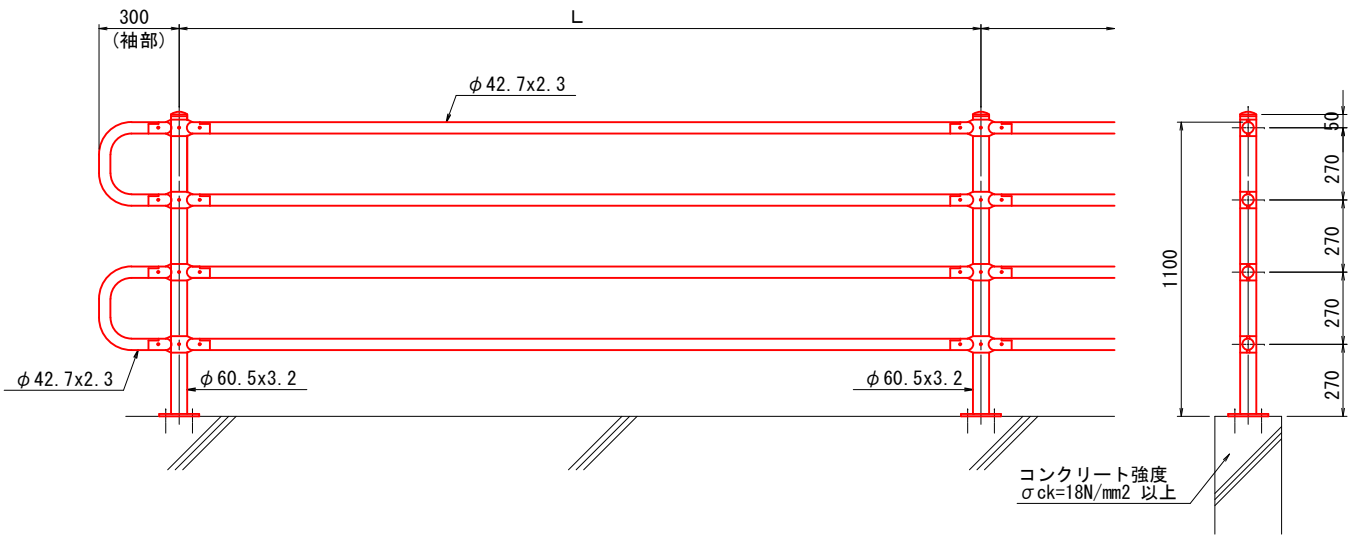
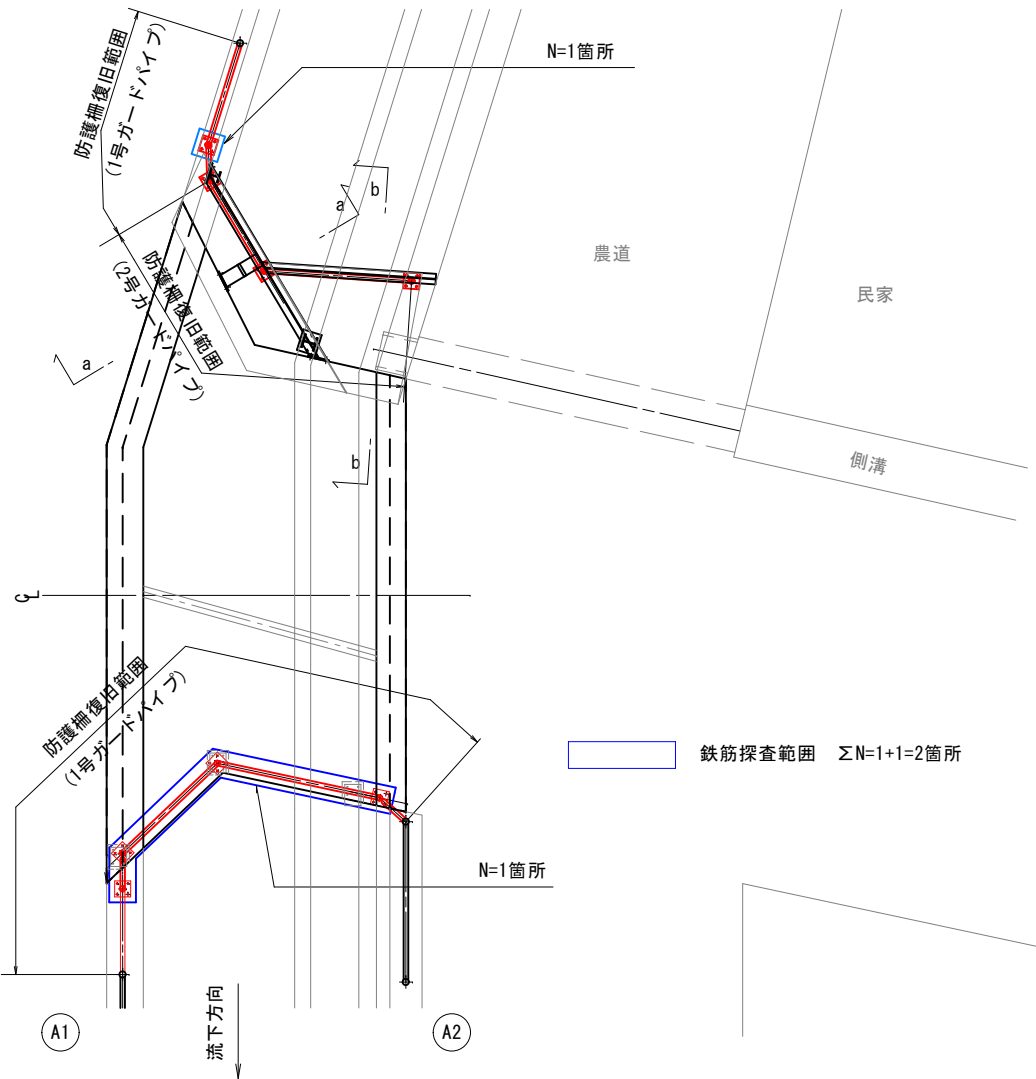
- 注記
- 1 本図面は、現地簡易計測による寸法を記載したものであり、施工に際しては再度計測の上図面との整合を図ること。
 - 2 事前に現地寸法を確認し、製品を発注すること。

工 事 名	秦272号線 1号橋補修工事				
種 別	防護柵取替工(その1)			4 / 12	
事 業 名	道路事業	課 長	課長補佐	係 長	設 計
令和 8 年 度					
高知市都市建設部道路整備課					

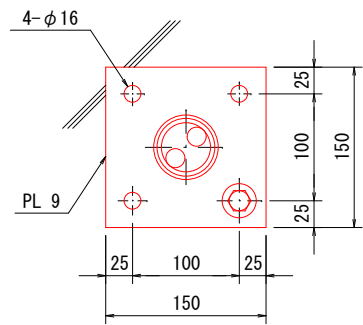
防護柵取替工(その2)

鉄筋探査工平面図 S=1:50

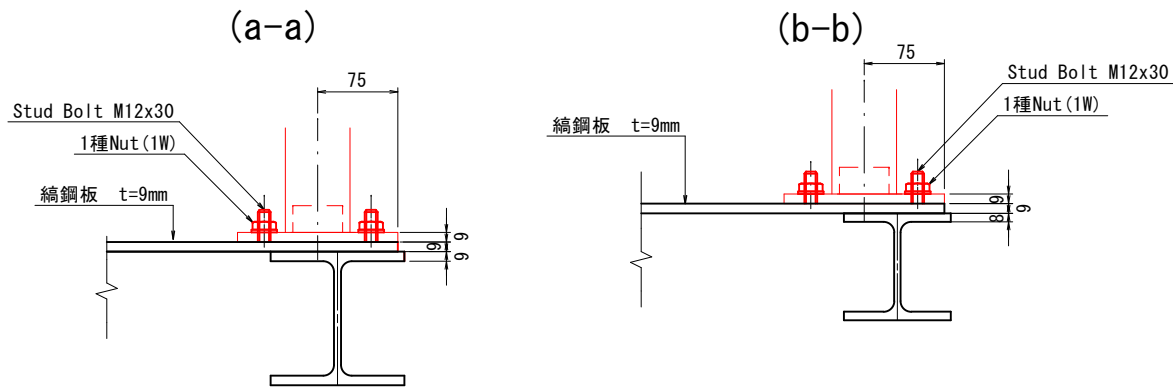
カードパイプ構造図(参考図) S=1:20



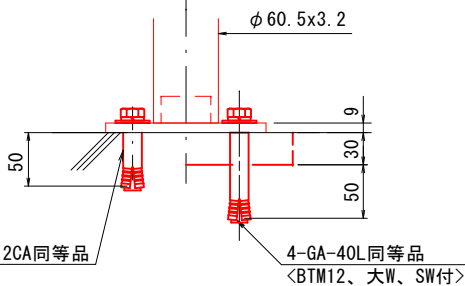
ベースプレート詳細図(1号ガードパイプ) S=1:5



ベースプレート詳細図(2号ガードパイプ) S=1:5



新規の支柱位置へ変更 既存の支柱位置と同一

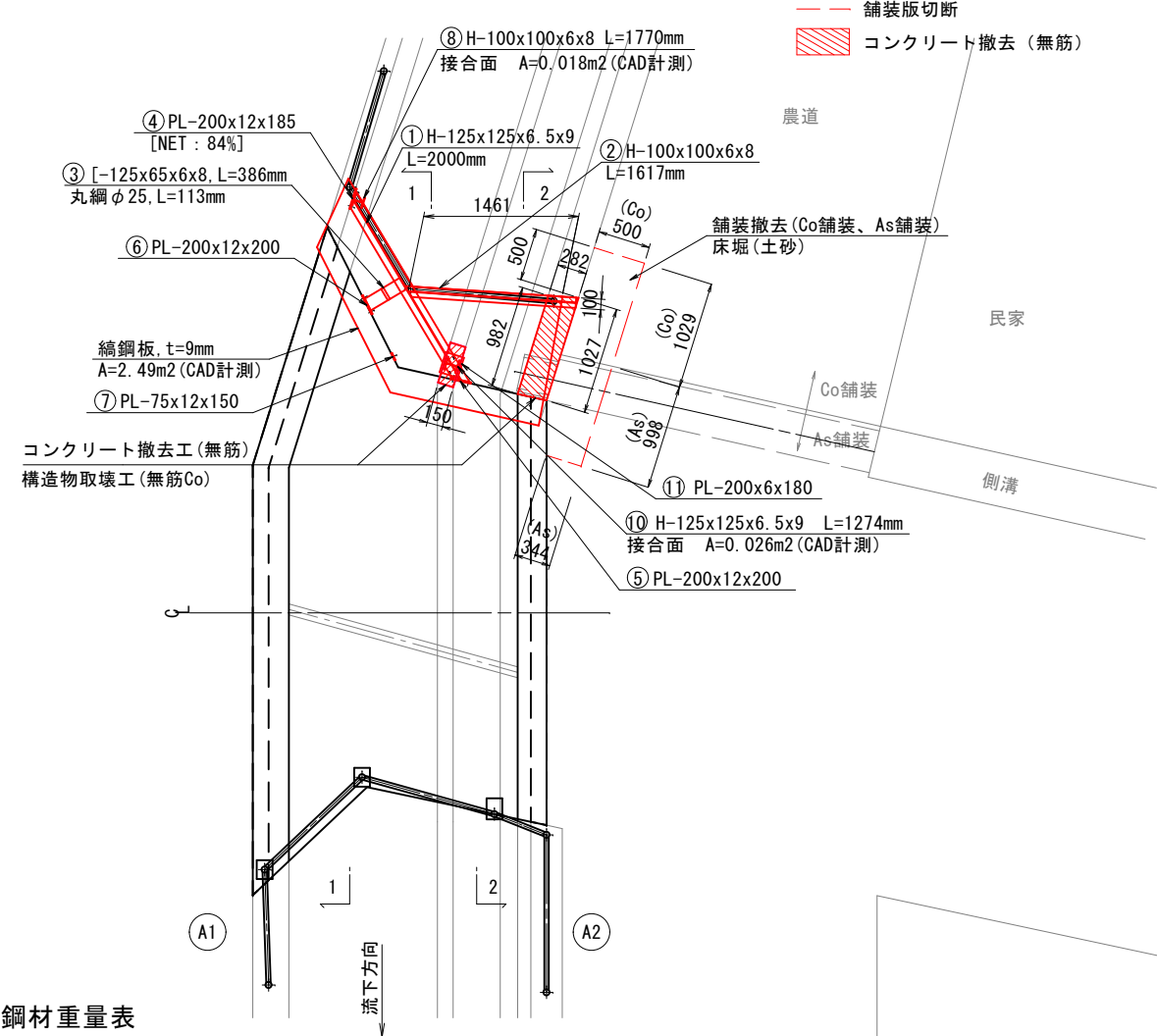


- 注記
- 1 本図面は、現地簡易計測による寸法を記載したものであり、施工に際しては再度計測の上図面との整合を図ること。
 - 2 事前に現地寸法を確認し、製品を発注すること。
 - 3 鉄筋探査工における1箇所とは、連続した1m以内の範囲とする。

工事名	秦272号線 1号橋補修工事			
種別	防護柵取替工(その2)			5 / 12
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長設計
令和8年度				
高知市都市建設部道路整備課				

部材(拡幅部)撤去工(その1)

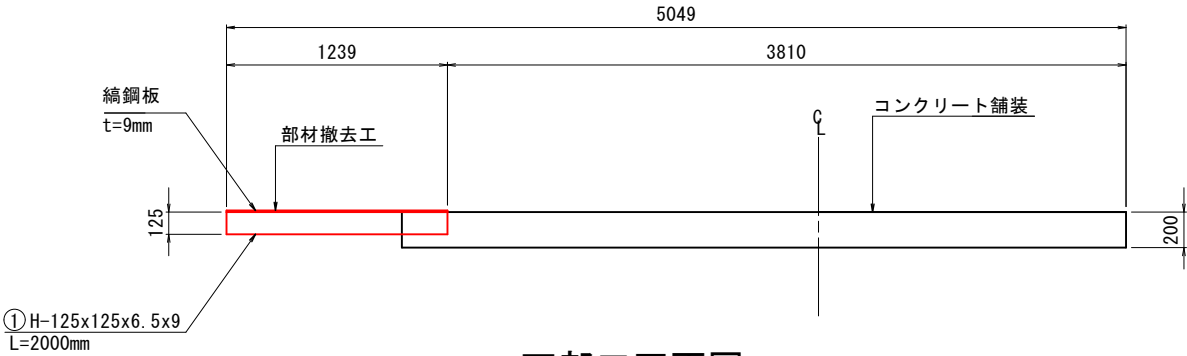
平面図 S=1:50



鋼材重量表

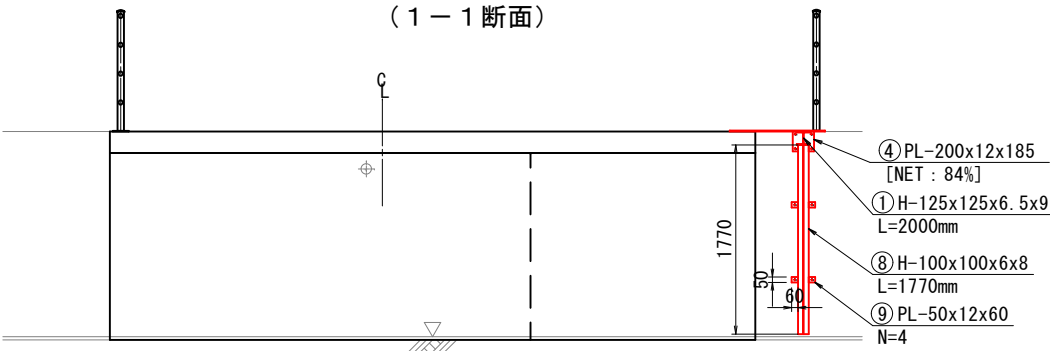
部 材		数 量		備 考
主桁(拡幅部)	H-125x125x6.5x9 L=2000 x1本	47	kg	①
	H-100x100x6x8 L=1617 x1本	27	kg	②
	[-125x65x6x8 L=386 x1本	5	kg	③
	丸鋼φ25 L=113x1本	1	kg	③
	PL-200x12x185 x1枚 [NET: 84%]	3	kg	④
	PL-200x12x200 x1枚	4	kg	⑤
	PL-200x12x200 x1枚	4	kg	⑥
	PL-75x12x150 x1枚	1	kg	⑦
小計		92	kg	
床版 (鋼鋼板)	A=2.49m ² (CAD計測) t=9mm x1枚	180	kg	
	小計	180	kg	
下部工	H-100x100x6x8 L=1770 x1本	30	kg	⑧
	PL-50x12x60 x4枚	1	kg	⑨
	H-125x125x6.5x9 L=1274 x1本	30	kg	⑩
	PL-200x6x180 x1枚	2	kg	⑪
	SGP40A L=100mmx1本	1	kg	⑫
	PL-120x6x120 x1枚	1	kg	⑬
小計		65	kg	
合計		337	kg	

上部工断面図 S=1:30

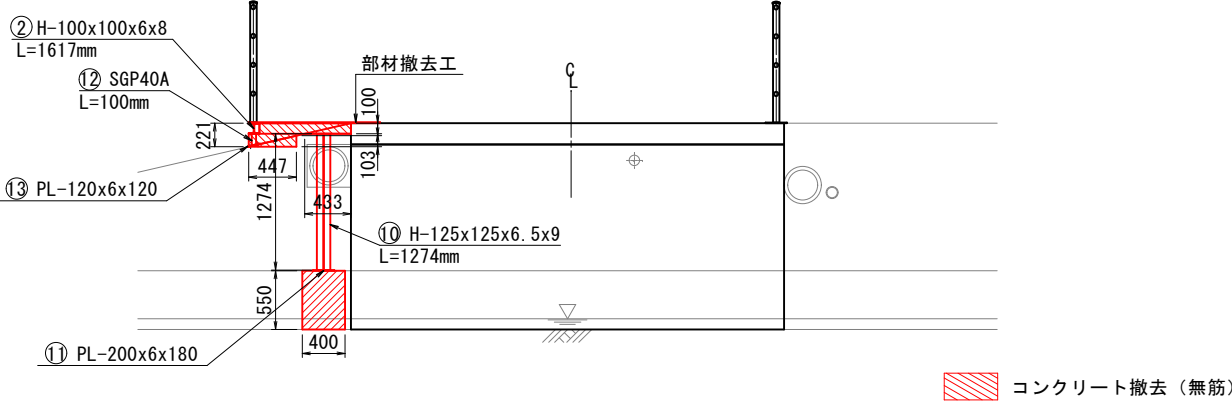


下部工正面図 S=1:50

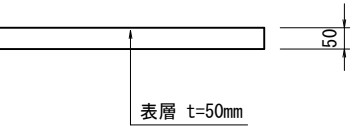
(1-1断面)



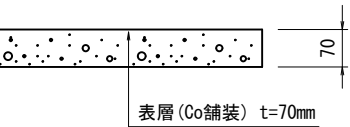
(2-2断面)



既設As舗装(想定) S=1:10



既設Co舗装(想定) S=1:10

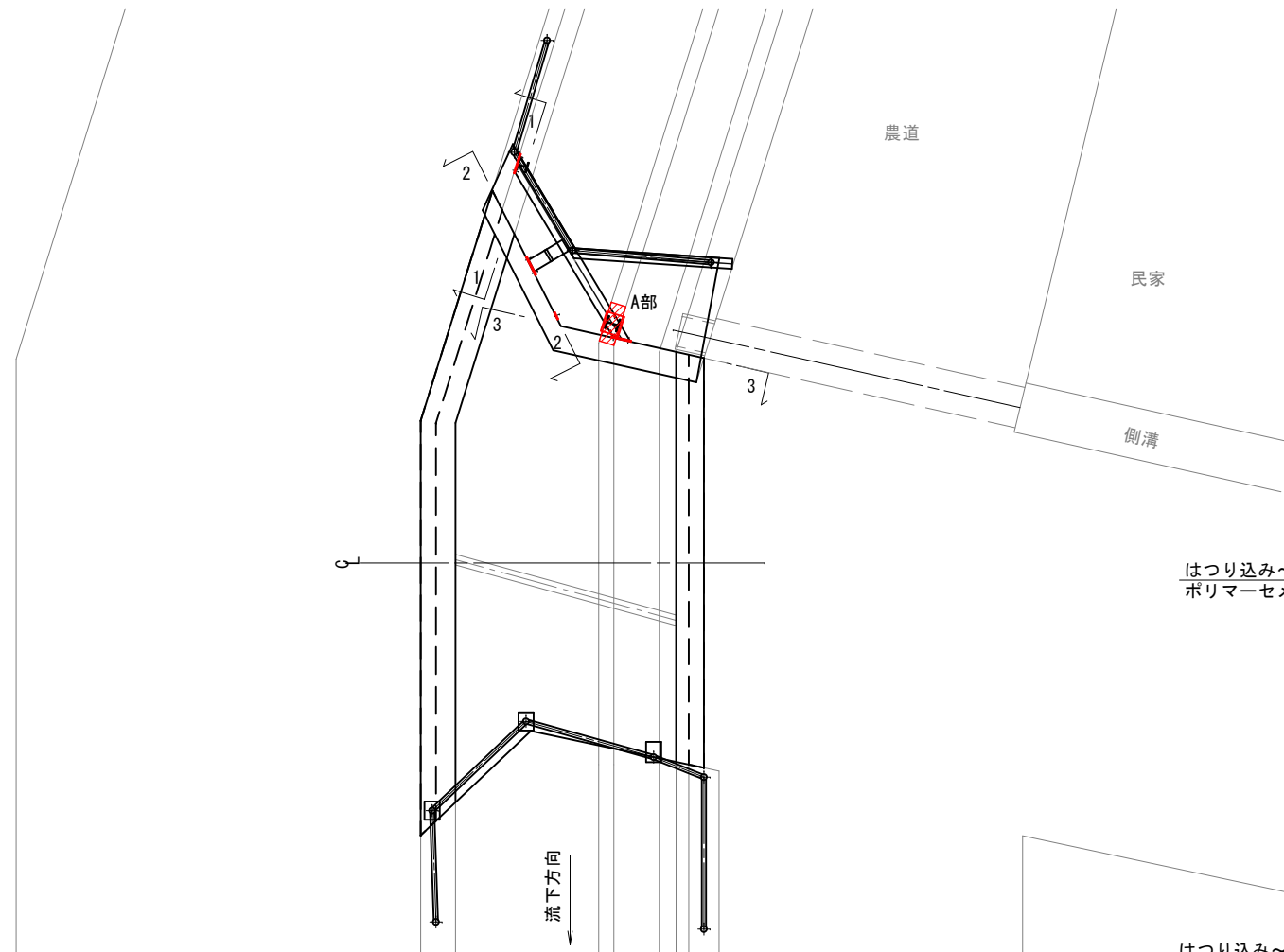


- 注記
- 本図面は、現地簡易計測による寸法を記載したものであり、施工に際しては再度計測の上図面との整合を図ること。
 - 舗装撤去時に舗装構成を確認すること。石積み箇所は存置する。

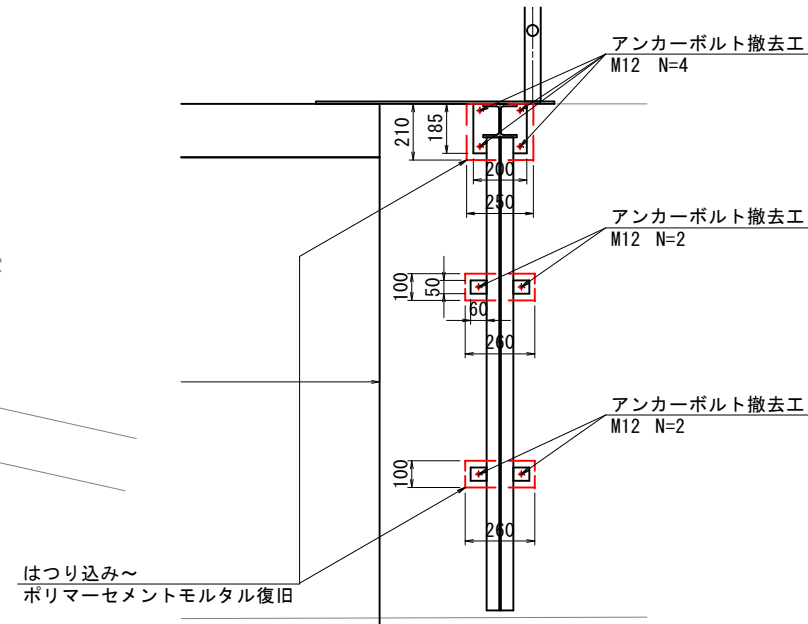
工 事 名	秦272号線 1号橋補修工事				
種 別	部材(拡幅部)撤去工(その1)		6 / 12		
事 業 名	道路事業	課 長	課長補佐	係 長	設 計
令和 8 年 度					
高知市都市建設部道路整備課					

部材(拡幅部)撤去工(その2)

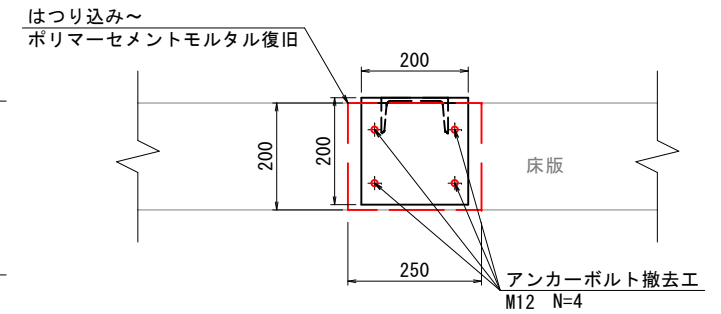
平面图 S=1:50



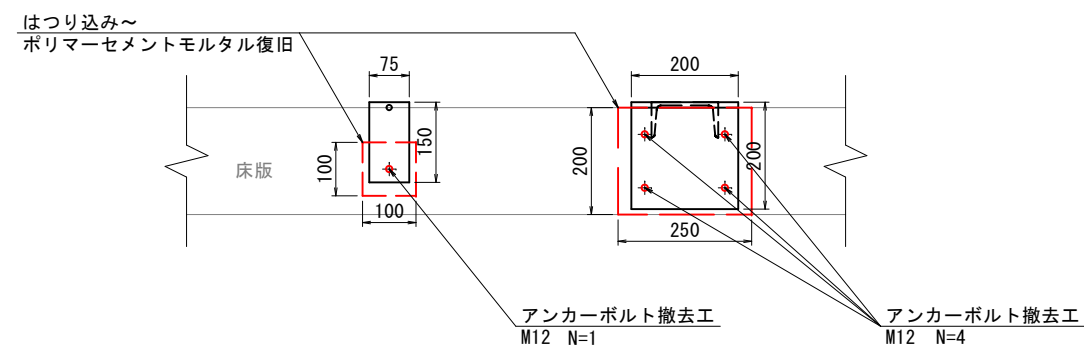
1-1断面図 S=1:20



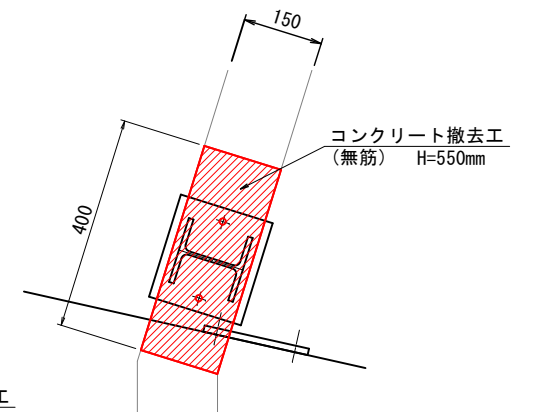
3-3断面図 S=1:10



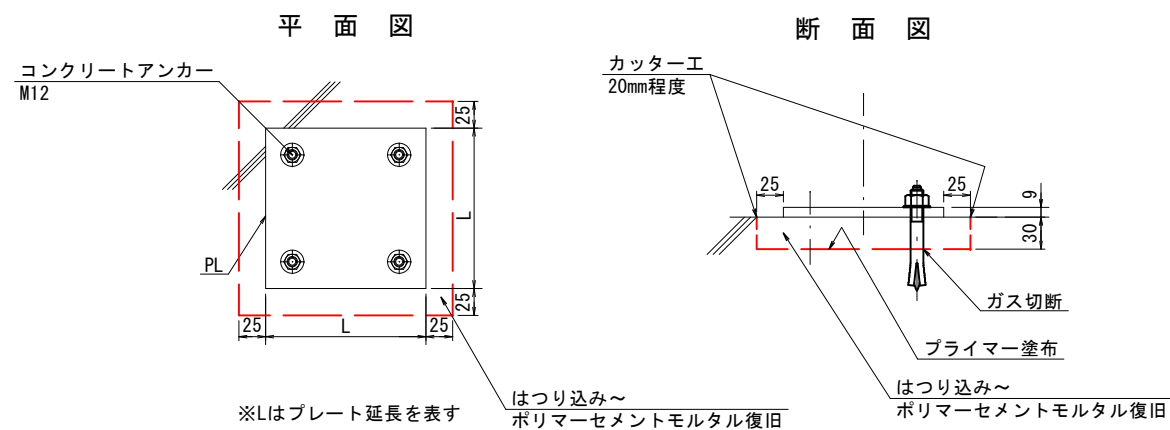
2-2断面図 S=1:10



A部詳細図 S=1:10



アンカーボルト撤去詳細図 S=1:5



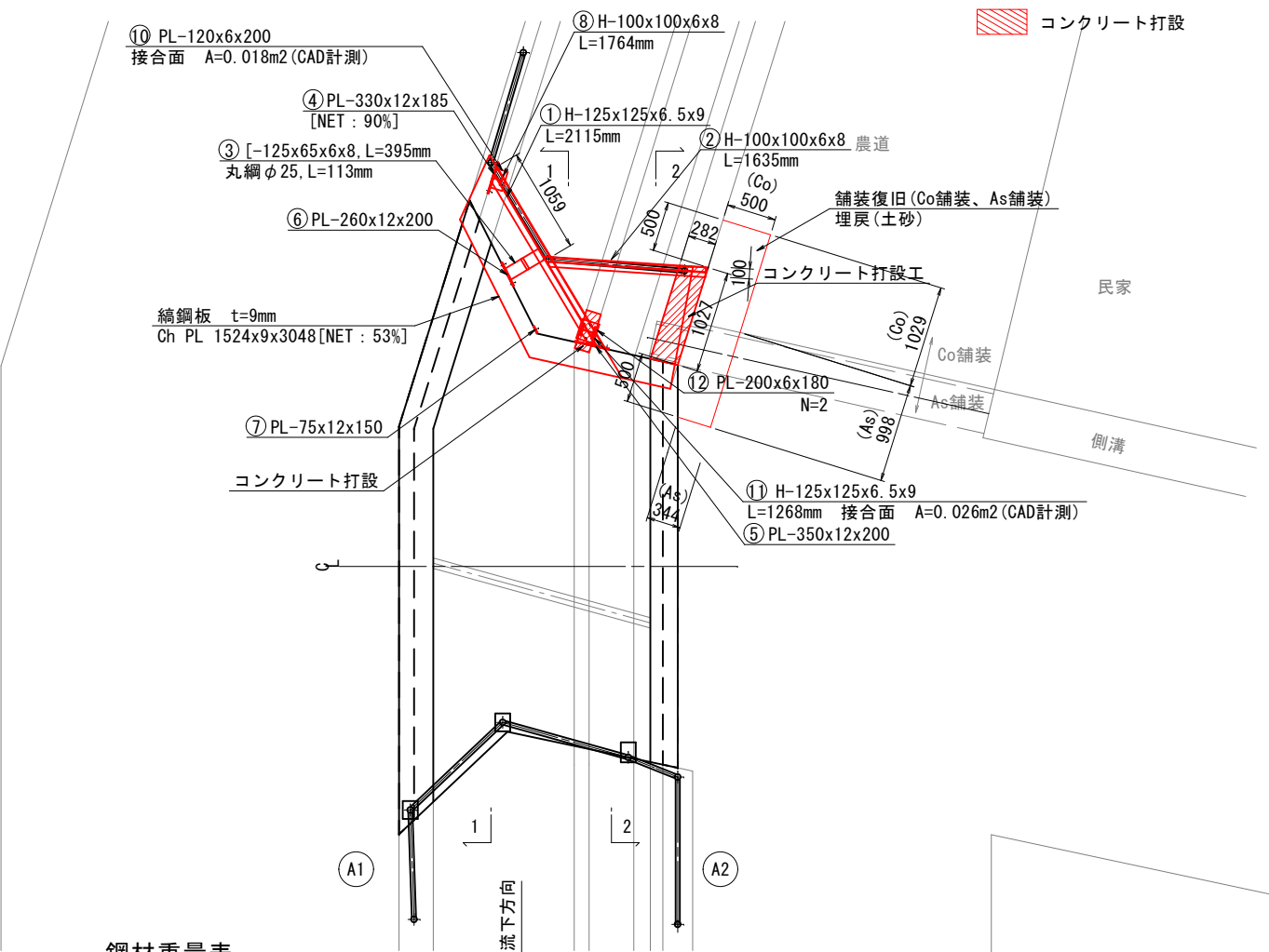
注記

1 本図面は、現地簡易計測による寸法を記載したものであり、施工に際しては再度計測の上図面との整合を図ること。

工 事 名	案272号線 1 号橋補修工事				
種 別	部材(拡幅部)撤去工(その2)			7 / 12	
事 業 名	道路事業	課 長	課長補佐	係 長	設 計
令和 8 年 度					
高知市都市建設部道路整備課					

部材(拡幅部)設置工(その1)

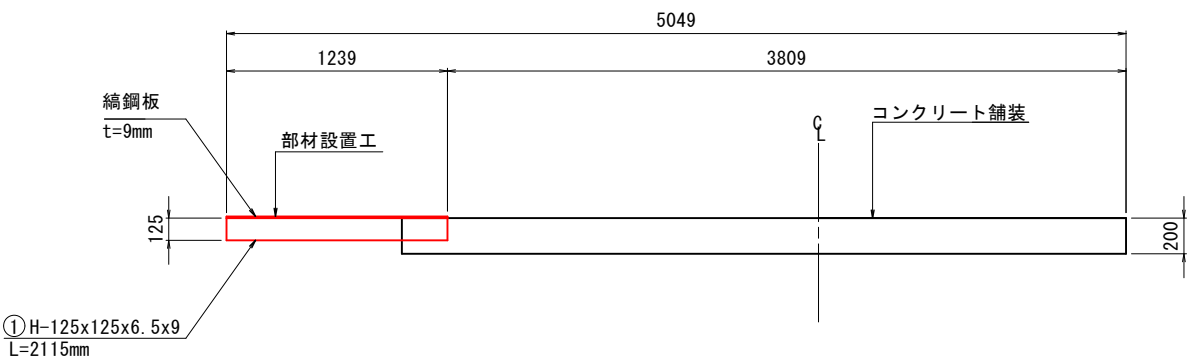
平面図 S=1:50



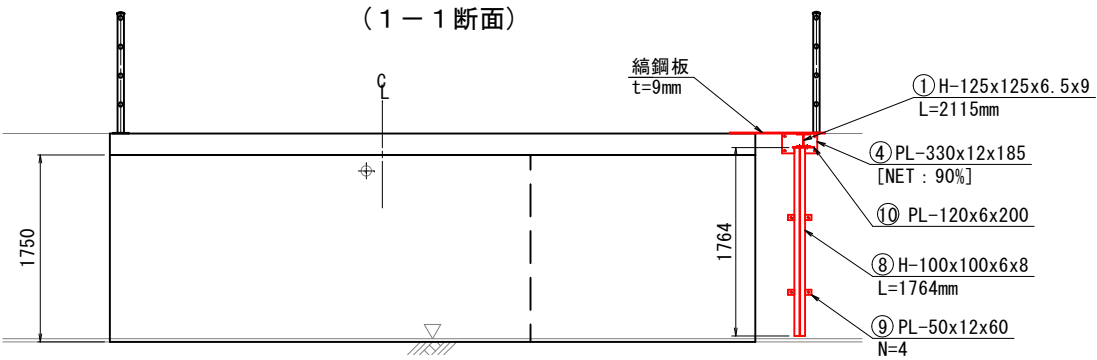
鋼材重量表

部 材		数量		備考
主桁(拡幅部)	H-125x125x6.5x9 L=2115 x1本	50	kg	①
	H-100x100x6x8 L=1635 x1本	28	kg	②
	[-125x65x6x8 L=395 x1本	5	kg	③
	丸鋼φ25 L=113x1本	1	kg	③
	PL-330x12x185 x1枚[NET: 90%]	5	kg	④
	PL-350x12x200 x1枚	7	kg	⑤
	PL-260x12x200 x1枚	5	kg	⑥
	PL-75x12x150 x1枚	1	kg	⑦
	小計	102	kg	
床版 (鋼鋼板)	鋼鋼板 Ch PL 1524x9x3048x1枚[NET: 53%]	178	kg	
	小計	178	kg	
下部工	H-100x100x6x8 L=1764 x1本	38	kg	⑧
	PL-50x12x60 x4枚	1	kg	⑨
	PL-120x6x200 x1枚	1	kg	⑩
	H-125x125x6.5x9 L=1268 x1本	30	kg	⑪
	PL-200x6x180 x2枚	3	kg	⑫
	小計	73	kg	
合計		353	kg	

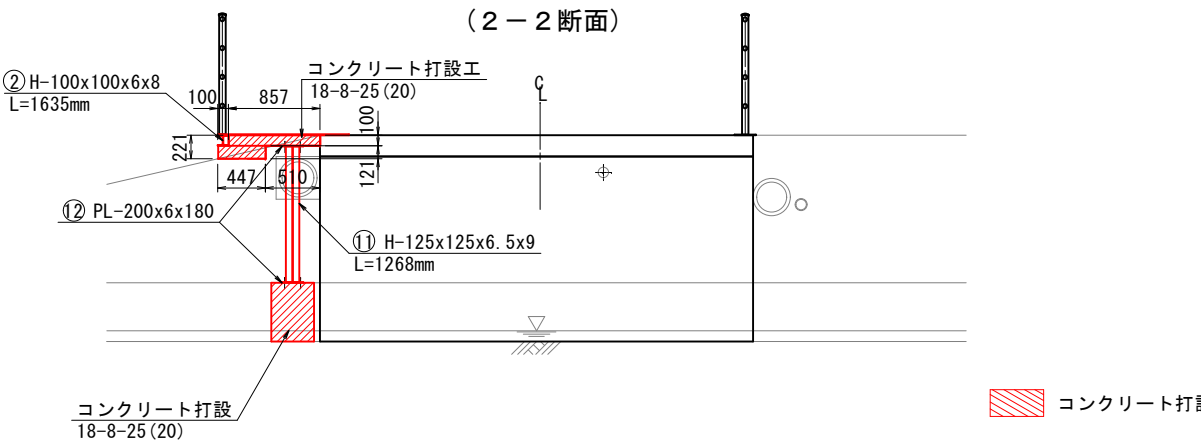
上部工断面図 S=1:30



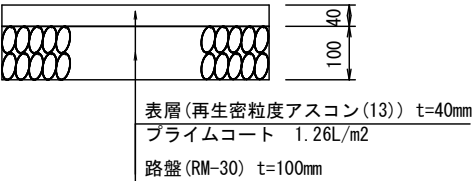
下部工正面図 S=1:50



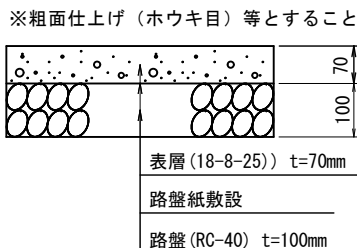
(2-2断面)



復旧As舗装 S=1:10



復旧Co舗装 S=1:10

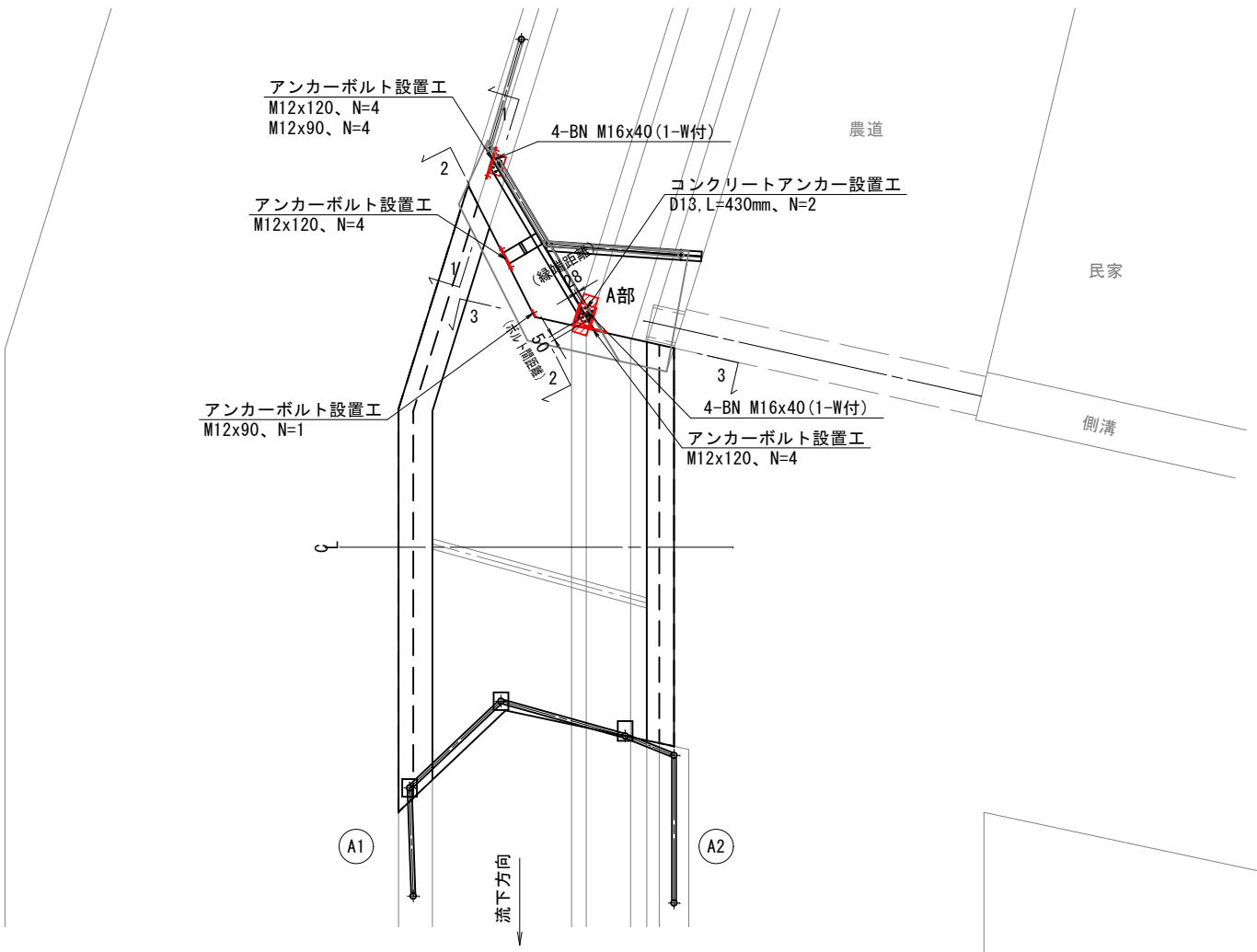


注記
1 本図面は、現地簡易計測による寸法を記載したものであり、施工に際しては再度計測の上図面との整合を図ること。
2 特記なき材質は、全てSS400とする。
3 新設鋼材は、C-5塗装系(淡彩)とする。

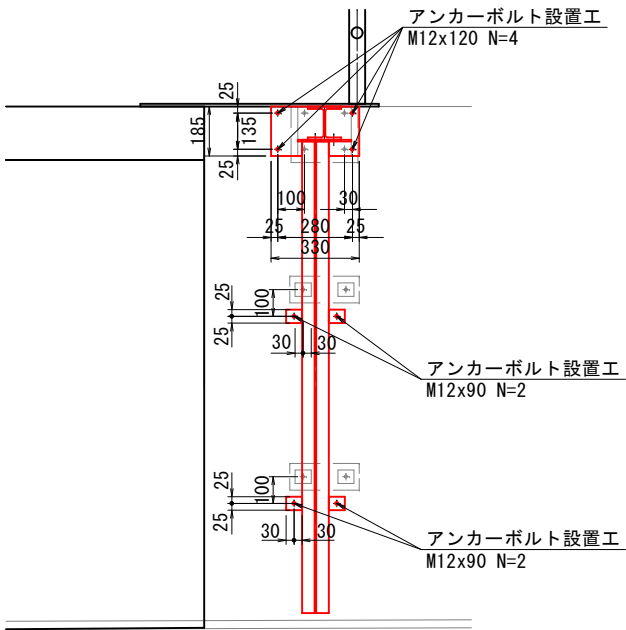
工 事 名	秦272号線 1号橋補修工事			
種 別	部材(拡幅部)設置工(その1)	8 / 12		
事 業 名	道路事業	課 長	課長補佐	係 長 設 計
令 和 8 年 度				
高知市都市建設部道路整備課				

部材(拡幅部)設置工(その2)

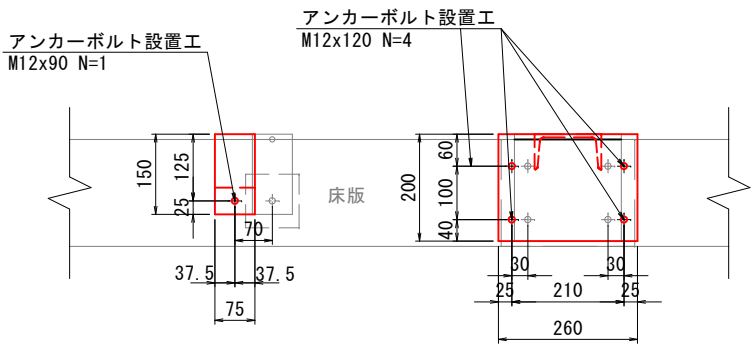
平面図 S=1:50



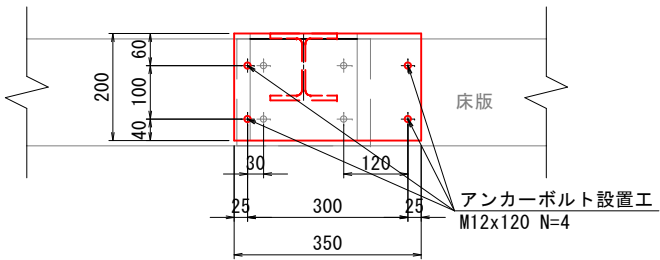
1-1断面図 S=1:20



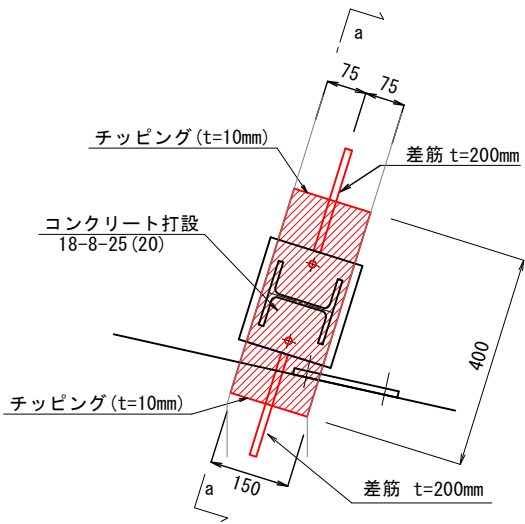
2-2断面図 S=1:10



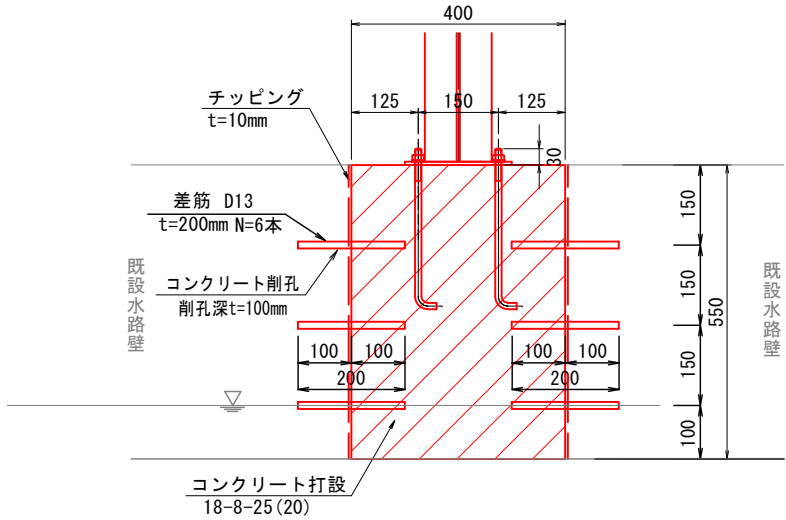
3-3断面図 S=1:10



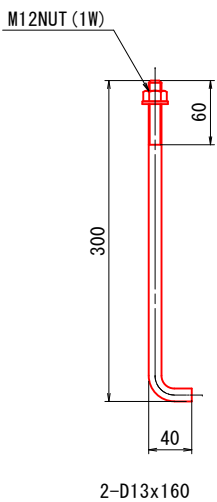
A部詳細図 S=1:10



(a-a) S=1:10



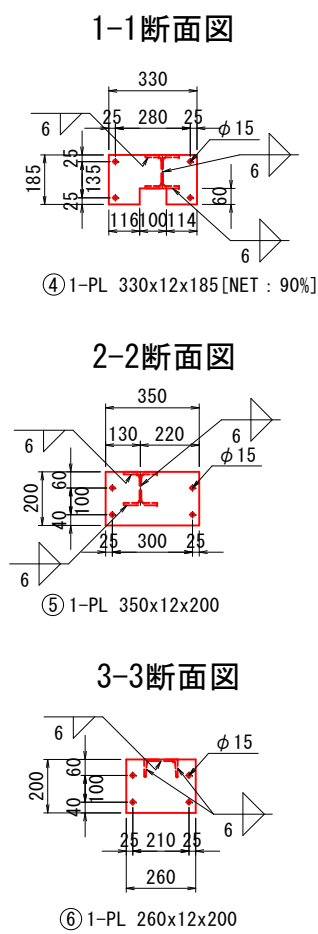
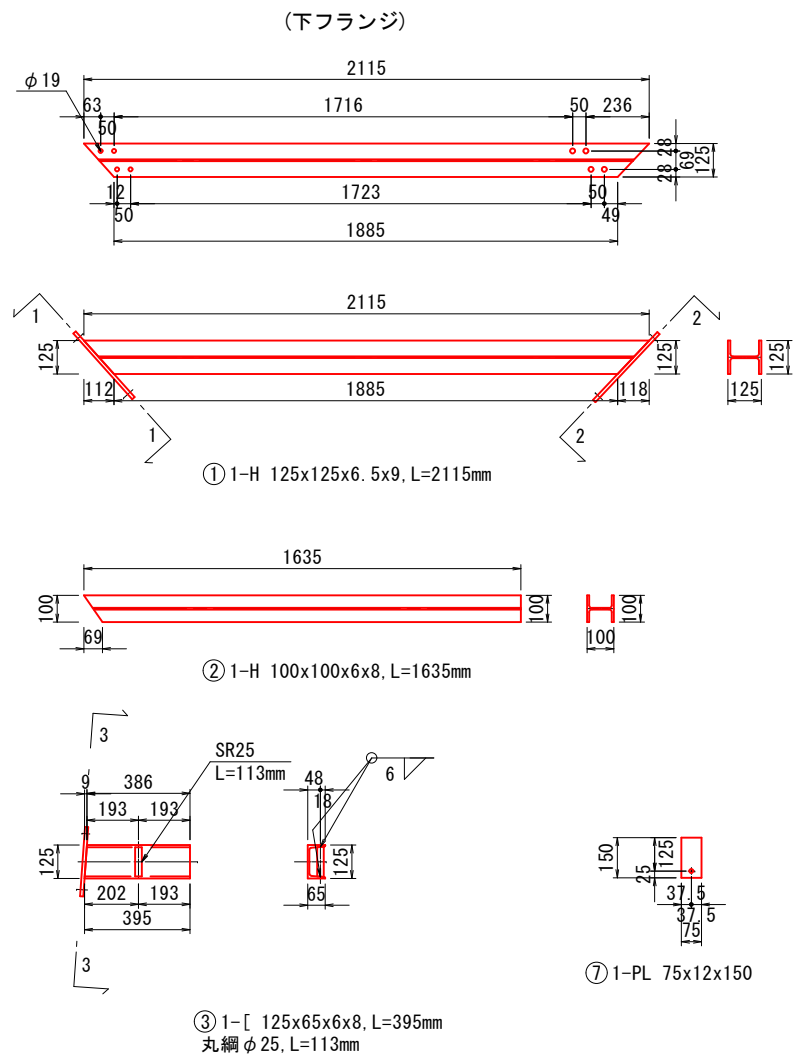
アンカーボルト詳細図 S=1:5



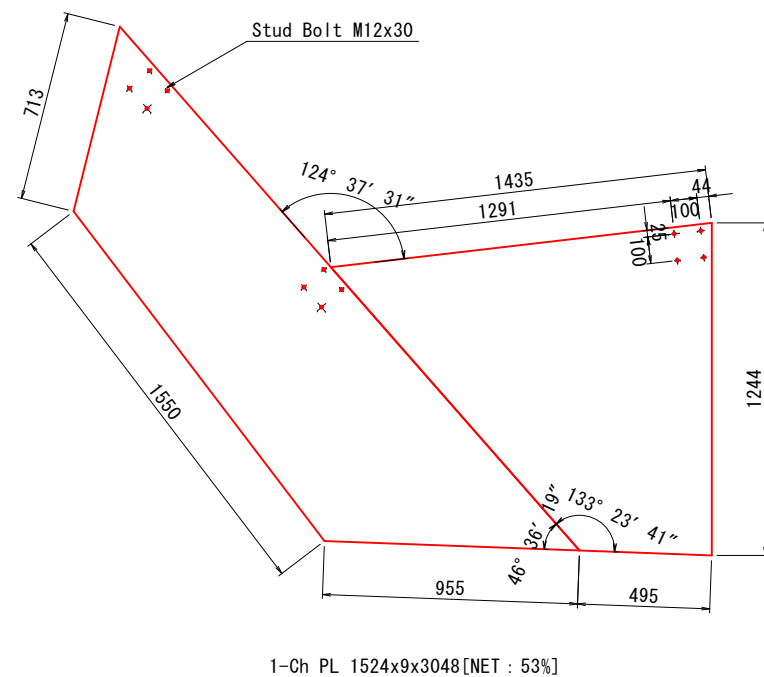
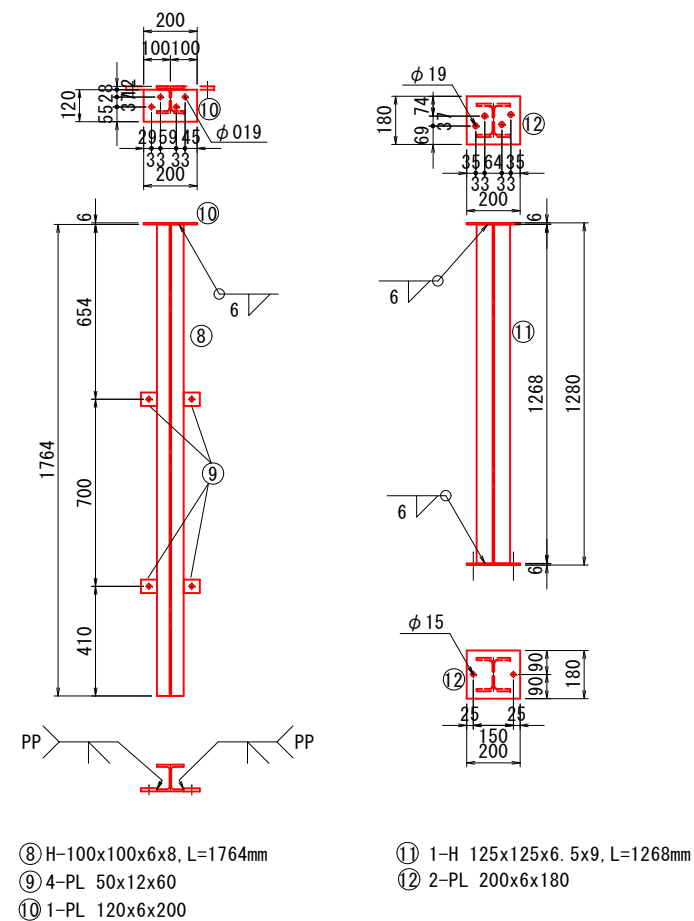
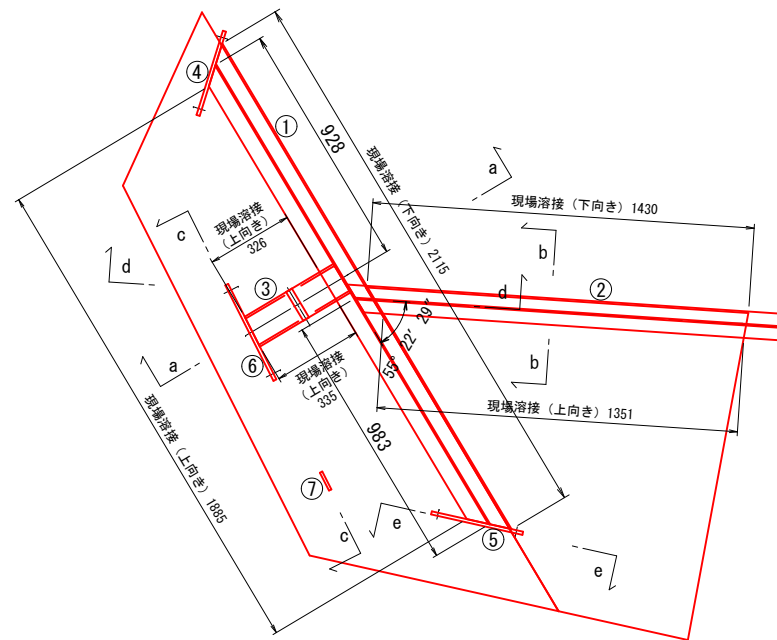
- 注記
- 1 本図面は、現地簡易計測による寸法を記載したものであり、施工に際しては再度計測の上図面との整合を図ること。
 - 2 部材製作開始前に現地寸法と整合を確認の上、制作を開始すること。
 - 3 アンカーボルト設置位置はコンクリートの状態を確認し、損傷が確認された場合は補修を実施した後でアンカーボルトを設置すること。
 - 4 上下部工接合部のボルト箇所は縁端距離28mm以上を確保し、ボルト設置箇所は現地状況に合わせて適時変更すること。また、設置ボルトはM16(強度区分8.8)x4本/箇所以上とすること。

工事名	秦272号線1号橋補修工事			
種別	部材(拡幅部)設置工(その2)			9 / 12
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長設計
令和8年度				
高知市都市建設部道路整備課				

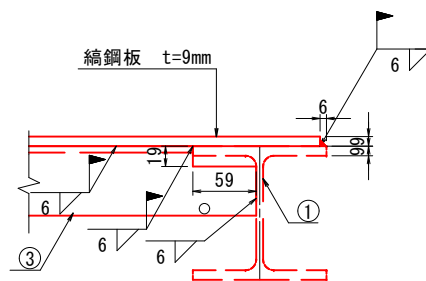
部材(拡幅部)設置工(その3)



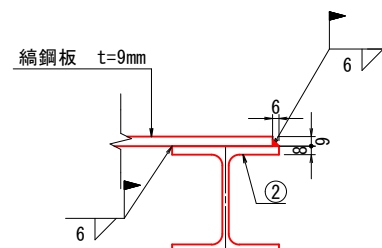
鋼材加工図 S=1:20



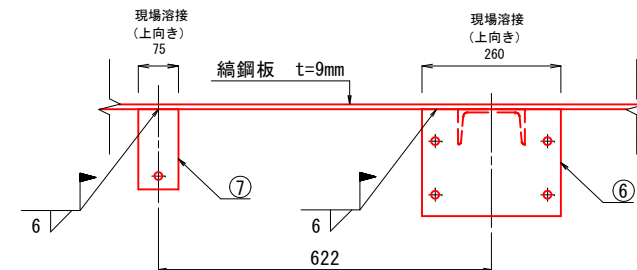
(a-a) S=1:5



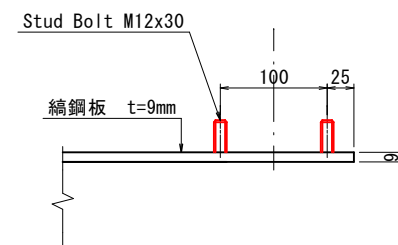
(b-b) S=1:5



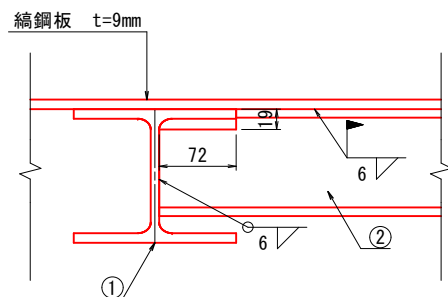
(c-c) S=1:10



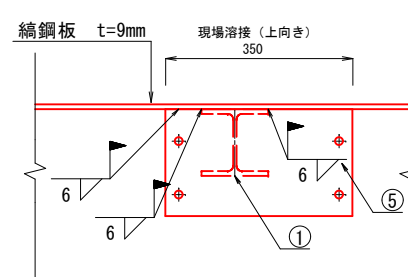
Stud Bolt詳細図 S=1:5



(d-d) S=1:5



(e-e) S=1:10



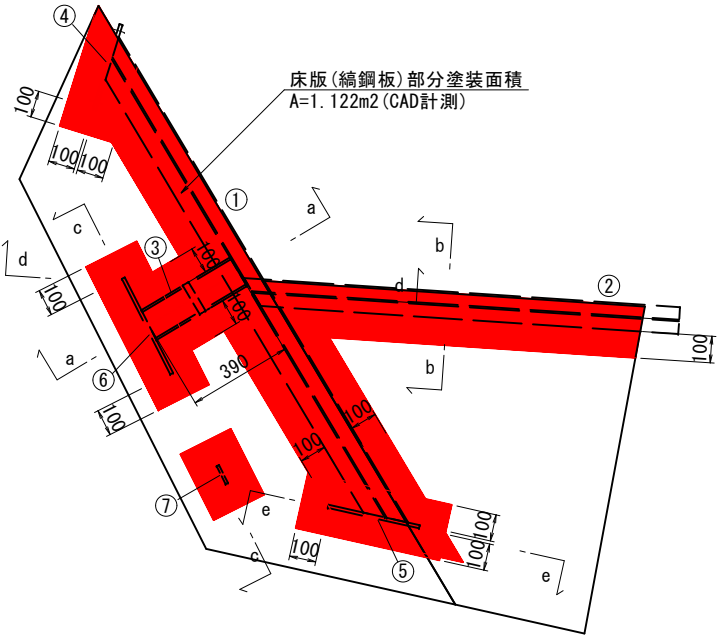
- 本図面は、現地簡易計測による寸法を記載したものであり、施工に際しては再度計測の上図面との整合を図ること。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 新設鋼材は、C-5塗装系（淡彩）とする。
- 新規鋼材同士が接触する面は、素地調整～無機ジンクリッチペイントまでとする。
- 工場製作は現地計測の上、最終決定すること。
- 現場塗装範囲は、溶接線より上下左右100mmを確保した範囲とする。
- 現場塗装は、F13塗装系とする。

工事名	秦272号線1号橋補修工事				
種別	部材(拡幅部)設置工(その3)				10 / 12
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長	設計
令和8年度					
高知市都市建設部道路整備課					

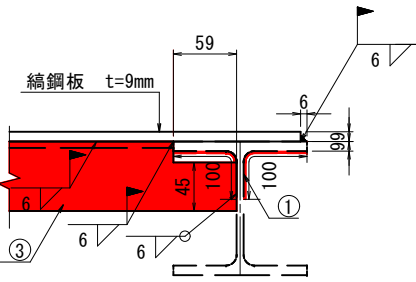
部材(拡幅部)設置工(その4)

現場塗装範囲(着色部)

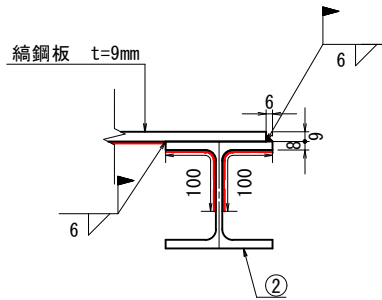
平面図
(路面)
S=1:20



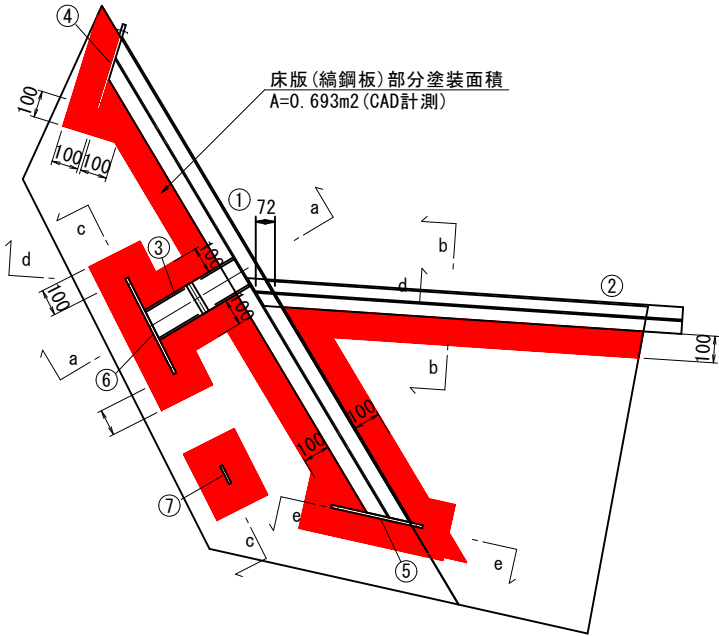
(a-a) S=1:5



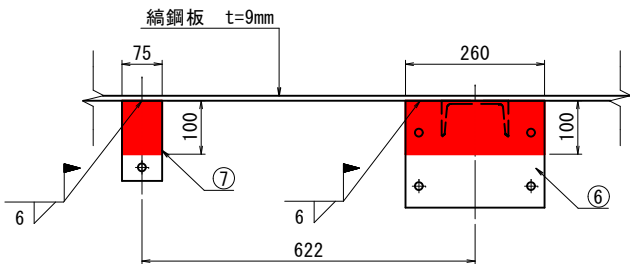
(b-b) S=1:5



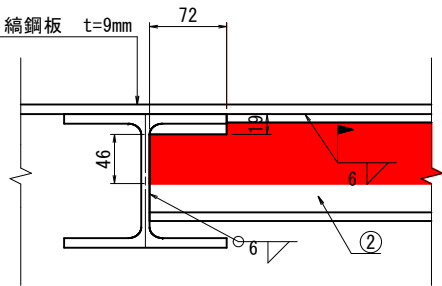
平面図
(桁下面)
S=1:20



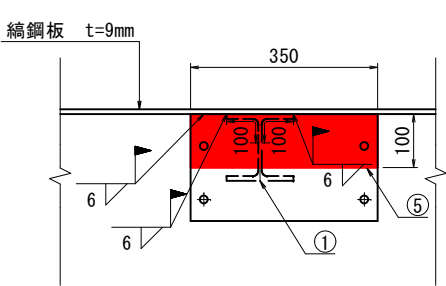
(c-c) S=1:10



(d-d) S=1:5



(e-e) S=1:10



塗装工仕様

C-5塗装系

塗装工程		塗料名	使用量 (g/m ²)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	ブラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4 時間以内
	プライマー	無機ジンクリッチプライマー	(160)	(15)	6 ヶ月以内
橋梁製作工場	2次素地調整	ブラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4 時間以内
	防食下地	無機ジンクリッチペイント	600	75	2 日～10 日
	ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	160	—	1 日～10 日
	下塗	エポキシ樹脂塗料下塗	540	120	1 日～10 日
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1 日～10 日
	上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1 日～10 日

注) 1: 使用量はスプレーの場合を示す。
注) 2: プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。
注) 3: 製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。

出典: 鋼道路橋防食便覧 H26.3 (公社) 日本道路協会

F-13塗装系

塗装工程		塗料名	塗装方法	使用量 (g/m ²)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
現場	素地調整	ブラスト処理 ISO Sa 2 1/2				4 時間以内
	防食下地	有機ジンクリッチペイント	はけ・ローラー	300×2	75	1 日～10 日
	下塗り	変性エポキシ樹脂塗料下塗	はけ・ローラー	200	60	1 日～10 日
	下塗り	変性エポキシ樹脂塗料下塗	はけ・ローラー	200	60	1 日～10 日
	中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	はけ・ローラー	140	30	1 日～10 日
	上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗	はけ・ローラー	120	25	1 日～10 日

出典: 鋼道路橋防食便覧 H26.3 (公社) 日本道路協会

- 1 本図面は、現地簡易計測による寸法を記載したものであり、施工に際しては再度計測の上図面との整合を図ること。
- 2 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 3 新設鋼材は、C-5塗装系(淡彩)とする。
- 4 新規鋼材同士が接触する面は、素地調整～無機ジンクリッチペイントまでとする。
- 5 工場製作は現地計測の上、最終決定すること。
- 6 現場塗装範囲は、溶接線より上下左右100mmを確保した範囲とする。
- 7 現場塗装は、F13塗装系とする。

工事名	秦272号線1号橋補修工事				
種別	部材(拡幅部)設置工(その4)		11 / 12		
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長	設計
令和8年度					
高知市都市建設部道路整備課					

